

研究主題 **豊かに生きる力の育成**
～自分を知り「なりたい自分」に近づくキャリア教育の実践～

1 単元名 「これからの工業生産とわたしたち」

2 単元の目標

我が国の工業生産について、伝統を生かした工業、中小企業の優れた技術などに注目して、地図帳や地球儀、各種の資料を調べ、まとめることで工業生産の課題をとらえ、工業生産の発展と国民生活との関連を考え、表現することを通して、原材料や資源の多くを輸入している我が国の工業生産の現状をふまえ、消費者の需要や社会の変化に対応した新しい技術の開発などが重要であることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追及・解決しようとする態度や、学習したことを基にこれからの工業の発展について考えようとする態度を養う。

3 本単元の評価規準とキャリア教育を通して育みたい力（評価規準マトリクス）

高学年の基礎的汎用的能力（夢4）		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
人や社会と関わる力  【人間関係形成・社会形成能力】	<ul style="list-style-type: none"> 相手の立場に立って考え、思いやりをもって行動する力 相手と関わりながらより良いものを創り上げようとする力 		①工業生産の課題について考え、学習してきたことを基に、様々な立場から多角的に考えて、これからの工業の発展について考え表現している。	
自分をみつめる力  【自己理解・自己管理能力】	<ul style="list-style-type: none"> 自分の長所短所を理解し、自分らしさを発揮する力 自分と異なる意見も理解しようとし、積極的に交流する力 		②工業生産に携わる人々の思いや願い、それらを取り巻く環境などから課題について考え、表現している。	
課題をやりぬく力  【課題対応能力】	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対して自分に今何ができるのかを考え、計画、実践する力 情報や情報手段を主体的に選択し、活用する力 	①資料で調べて、必要な情報を集め、読み取り、工業生産の課題を理解している。 ②我が国の工業生産の現状を踏まえ、新しい技術の開発などが重要であることを理解している。		①これからの工業生産について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追及し、解決しようとしている。
次につなげる力  【キャリアプランニング能力】	<ul style="list-style-type: none"> 学ぶこと働くことの意義を理解する力 将来の夢について考え、実現に向けて設計、行動、改善する力 			②持続可能な社会づくりにつながるように、生産者や消費者、それを取り巻く環境など様々な視点で考えようとしている。

※キャリア教育と関連が密接なものは**ゴシック体・太字**

4 部会提案

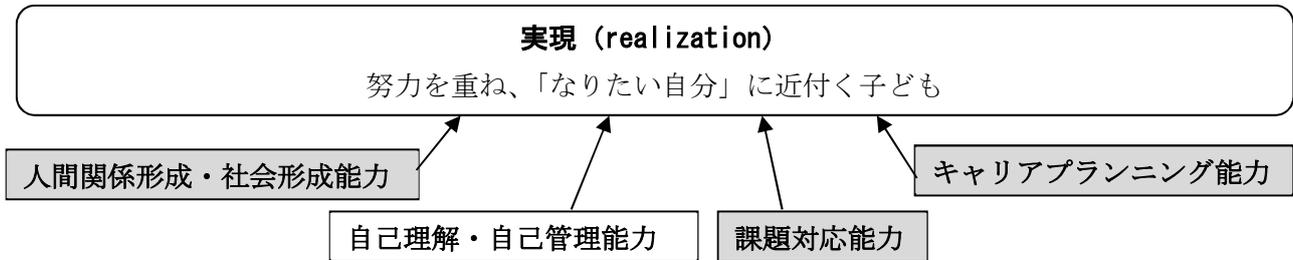
(1) 児童の実態と単元観

本単元「3. わたしたちの生活と工業生産」は、小単元「1. くらしを支える工業生産」「2. 自動車をつくる工業」「3. 工業生産を支える輸送と貿易」「4. これからの工業生産とわたしたち」から構成される。本単元を通して、我が国では様々な工業生産が行われており国民生活の向上に重要な役割を果たしていること、自動車産業を例として工業生産に関わる人々の工夫や努力を知ること、貿易や運輸は工業生産を支える重要な役割であること、消費者の需要や社会の変化に対応した課題を基に工業生産が発展していくことの重要性について学ぶ。これまでに農業や水産業の生産者が工夫や努力をして産業に関わっていることを学習した。また、各産業の抱える課題をどのように解決していくのか考えてきた。

本単元では、生産者だけでなく消費者のニーズや伝統を生かした技術、環境配慮など多角的な視点で工業について考えられるようにしていきたい。工業生産に携わる人々の思いや願い、課題に対する取り組みについて学習したことを基に、工業生産の発展について自分の考えを明確にしていく活動を行っていく。これからの時代を担う自分たちに何ができるのかを考え、実行する力が図られるようにしたい。

キャリア教育の視点では、本単元を通して、課題に対して自分に何ができるのかを考えさせ、計画、実践する力を伸ばし、「課題対応能力」を育てていきたい。そして、相手と関わりながらよりよいものを作り上げようとする力を伸ばし、「人間関係形成・社会形成能力」も育てていきたい。また、ゲストティーチャーを招き、実際に工業生産に携わる方の思いや願いを知るとともに、学ぶこと働くことの意義についても考えさせることで、「キャリアプランニング能力」も育てていきたい。

(2) 高学年の目指す児童像と本単元で重要となる基礎的・汎用的能力



(3) 本単元で目指す児童像を実現するための手だて

<p>【手だて1】：自分事として捉え、思いを明確にするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○掲示の工夫 単元内で学習する生産者の方々の願いや思い、課題に対する取り組みが比較できるように教室内に掲示する。 ○まとめの工夫 学習のまとめとして、生産者になりきり様々な視点から工業生産の課題を見つめ、課題解決のためにどのように取り組むのか考えさせることで、自分自身が大切にしたい思いを明確にし、表現する活動を行う。 	<p>【夢4】</p> 
<p>【手だて2】：課題に対し、様々な立場から考え、解決方法を探るために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グループ活動の充実 国内の工業生産の課題について、グループで協議し、解決方法を模索することで、1つの課題に対しても多角的に考え、立場や思い、願いによって様々な解決方法があることを実感する。そのために、単元内ではグループでの活動を取り入れていく。 ○外部人材の活用 様々な立場から工業生産について考えるために、ゲストティーチャーを招き、実際に工業生産に携わる人々の具体的な取り組みを知り、生産者の思いや願いを考えさせる。また、工夫や努力をしながら様々な課題に対して取り組んでいることを知り、自分たちの生活が支えられていること、豊かになっていることを感じられるようにする。 	<p>【夢4】</p>  

5 指導計画

		学習内容	主な学習活動	◆指導上の留意点	【評価規準】 基礎的・汎用的能力
つかむ	1	日本の工業生産の特色について話し合い、学習問題をつくる。	○「自動車工業」や「輸送と貿易」の学習、p. 46, 3のグラフなどを基に、日本の工業の特色について話し合い、学習問題をつくる。	◆自動車工業の学習を振り返り、関連工場の役割を考える中で、大工場とは違った特色があることに気付けるようにする。	【主①】 
	2	北陸地方の工場では、昔から伝わる技術をどのように工業生産に生かしているのか調べる。	○「めがね協会の小松原さんの話」「伝統を生かした北陸の工業」などから北陸地方の工業生産を調べ、伝統的な技術をどのように生かしているのかを話し合う。	◆「めがねづくり」「高岡銅器」「輪島塗」に見られる、他地域には真似できない高い技術に着目して、「産地ブランド」の意味を考えさせる。	【知・技①】 
調べる	3	ものづくりのまち大田区がほこる技術は、どのようなものなのか調べる。	○「北嶋さんの話」「田中さんの話」などから大田区での工業生産を調べ、他地域との違いについて話し合う。	◆「北嶋さんの工場」や「田中さんたちの製品づくり」に見られる高い技術や技術のモチ寄りに着目して、「オンリーワン」の意味を考えさせるようにする。	【知・技①】 
	4	日本の工業生産には、どのような課題があるのか調べる。	○「製造業で働く人口の変化」のグラフや「輸送と貿易」の学習から、日本の工業生産の課題を話し合う。 ○写真資料などから、課題に対する取り組みを調べる。	◆「資源確保」「人口減少」「環境への配慮」に着目して、新たな取り組みが持続可能な社会づくりにつながっていることに気付かせるようにする。	【思・判・表②】 
まとめる	5	学習をふり振り返り、日本の工業生産についてまとめる。	○これまで単元を通して学習してきたことを振り返って、工業生産についてまとめる。	◆「持続可能な社会」などが示す意味について振り返りながら、日本の工業生産の発展について考えさせるようにする。	【知・技②】 
いかす	6 (本時)	企業が国内外で課題に対して行っている取り組みを知り、思いを考える。	○ゲストティーチャーを招き、国内外での課題解決のために取り組まれていることを知る。 ○取り組むにあたりどのような思いや願いが込められているのか考える。	◆ <u>持続可能な社会づくりにつながるように、様々な視点から取り組みが考えられていることに</u> 気付かせるようにする。	【主②】 【思・判・表②】 
	7	日本の工業生産についての学習をふり振り返り、これからの理想の自動車を考える。	○これまで学習してきたことをふり振り返り、これからの工業生産に必要なことを話し合う。 ○自動車の開発者になりきり、課題解決のための取り組みを考え、話し合う。	◆ <u>課題に着目して、日本の工業生産の持続可能性について考えさせるようにする。</u> ◆ <u>思いや願いが込められた考えを聞き、多角的にこれからの日本の工業生産の発展について考えられるようにする。</u>	【思・判・表①】 【主①】 

※波線はキャリア教育の視点

6 本時の学習（7時間扱いの6時間目）

- (1) 本時の目標
企業の取り組みを知り、持続可能な社会づくりにつながるように、生産者や消費者、それを取り巻く環境など様々な視点で考えることができるようにする。
- (2) キャリア教育の重点
◎学ぶこと働くことの意義を理解する力【キャリアプランニング能力】
- (3) 展開

※波線はキャリア教育の視点

段階	学習活動	教材, 教具, 学習形態	指導・支援 (○) 評価 (●)
導入 5分	1 前時までの学習内容を振り返る。 2 本時のめあてを確認する。	【全体】	○工業の学習内容と関連付けながら、「Komatsu」という企業を紹介する。
工業の力を活かした社会貢献について学ぼう			
展開 35分	3 地雷除去プロジェクトについて知る。 ・地雷とその被害 ・地雷除去プロジェクトについて 4 プロジェクトメンバーの一員になったつもりで、地雷除去が完了した村のためにできることを考える。 ・みんなで遊べる公園を作りたい。 ・道路があると便利。 ・水がいつも使えるようにしたい。 ・病院があると安心。 5 考えた解決方法を発表する。 6 実際に村のために行われたことを知る。	【個人】 【グループ】 【全体】	○プロジェクトが始まった経緯を説明していただくことで、企業の思いや願いを捉えられるようにする。 ○自分自身の生活を基にすることで考えやすくする。 ●持続可能な社会づくりにつながるように、生産者や消費者、それを取り巻く環境など様々な視点で考えようとしている。【主②】  ○自分の考えと比較しながら、地雷除去後の活動を聞くように促す。 ●思いや願いを実現するのに必要なことを捉えている。 【思・判・表②】 
まとめ 5分	7 本時の振り返りを行う。 感想を書く。		○感想を書く前に、ゲストティーチャーに、「あなたにとって、地雷除去プロジェクトとは、どのようなものか」を尋ね、印象付ける。

7 板書計画

これからの工業生産とわたしたち

④地雷除去プロジェクトを知ろう
(企業の社会貢献)

地雷と
被害について

地雷除去プロジェクト



除去後の活動

資料提示
&
児童の意見